

踏み跡 <My Mountains>

房総	笠森観音・養老溪谷きのご探し	No.236
----	----------------	--------

平成5年10月11日

きのご探しを主目的にした山歩き。単純な山歩きも良いが、「植物を見る」「景色を楽しむ」「絵を描く」などなど目的を持って山を歩くのも悪くない。

朝日カルチャースクールの関係者の集まりにかみさんとかみさんのお姉さんと一緒に参加して、インストラクターが同行するきのご学習の山歩き。7時に家を出発。慣れた裏道を走り、国道409号線に出て笠森観音に8時20分に到着。笠森観音の正式な名前は「天台宗笠森寺（かさもりじ）」。

駐車場の一角で軽登山靴に履き替えて、カメラと空袋が入ったザックを背負って・・・、笠森観音を見に来る観光客とはちょっと異なるスタイルで出発は8時30分。

石段を上り、山道を歩き50～60mほどの高度差を登って行くと観音堂。この建物は1028年建立、日本唯一の「四方懸造（しほうかけづくり）」。国の重要文化財に指定されている。下から見上げると京都の清水寺のような感じがする。

観音堂の裏手の山道を進むとすぐに観光客のいない静かな山になってしまう。稜線上を北に歩きながら注意深く谷底を覗き、「きのごのにおい」を確認する。ここぞと思った斜面を一直線に下り、ジグザグに登り返しながらきのごを探す。こんなことを何度か繰り返すとかなりの運動量になる。

ひとわり探索と収穫を終えて車に戻り、国道の反対側にある笠森霊園の駐車場へ移動。駐車場の東側の小尾根に入り、再び探索と収穫。

インストラクターの提案で奥養老溪谷のキャンプ場にあるバンガロー村にも立ち寄ってみた。

秋の一日をたっぷり楽しみ、自分でも収穫ができて「これがウラベニホテイシメジだ」と理解できた有意義な学習山行となった。

きのご探しは、時には急斜面を下ったり上ったりもあり、沢筋の登攀もあれば降下もあったりする。

さらに、獲物探しに夢中になって遭難せぬようにもしなければならない。「地図と磁石」と「巨木・太陽」などの目標物を活用して、常に現在位置を押さえておかなければならない。きのご探しの山歩きでは、登山の経験が大いに役立つ場面が多いということがわかったが、海拔80m～120m程度の小さな山では、尾根の起伏や谷の刻みが浅いので高い山に比べると目標を失いやすいこともわかった。

以上

